

がん検診受診率向上に向けた取組状況について

令和6年4月に策定した「第4期千葉県がん対策推進計画」では、がん検診受診率60%を数値目標として掲げている。今年度の取組状況について、報告する。

1 概要

令和6年度第1回千葉県がん対策審議会予防・早期発見部会での検討を踏まえ、以下について取り組んでいる。

- (1) 県は、市町村等に対し、全国健康保険協会千葉支部（以下「協会けんぽ」という。）が被扶養者を対象に実施する特定健診と、市町村が実施するがん検診の同時実施によるメリット等について周知する。
- (2) 県は、検(健)診の実施主体である市町村と協会けんぽが行う協議の場の設定を行う等、後方支援を行う。

2 取組状況

(1) 協会けんぽとの連携

今年度の具体的な取組について、協会けんぽと打合せを実施した。また、協会けんぽと市町村との協議に県も同席する方向で調整中。

(2) がん検診に関するアンケート調査（令和7年12月5日）

県内54市町村を対象に、プロセス指標や市町村のがん検診と協会けんぽの特定健診の同時実施について、アンケート調査を実施した。

【調査結果】回収状況：全市町村から回答有。

- ・現在、同時実施を行っている市町村数は5団体（9.3%）。
- ・今後、同時実施が可能な市町村は3団体（6.1%）。
- ・同時実施できない理由は、予約の調整が困難（62.5%）、場所の確保が困難（58.3%）、人員不足（56.3%）の順となっている。

(3) 市町村等がん検診担当者研修会及び市町村健康関係担当者連絡会の開催

（令和8年1月13日）

- ①静岡社会健康医学大学院大学 准教授 溝田友里氏を講師に招き、ナッジ理論等の行動科学を活用したがん検診受診率向上の取組について研修を実施した。
講義内容の実践を目的に、各市町村が実際に使用しているがん検診啓発媒体を持ち寄り、グループワークにより啓発媒体の改善点を検討した。
- ②協会けんぽから、受診率向上に向けた市町村のがん検診と協会けんぽの特定健診の同時実施について、課題や実例等を説明した。